

^{デジタルカメラ} COOLPIX A1000 使用説明書

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(vi ページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

はじめに

はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX A1000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

詳しい説明を知りたいときは

本書のほかに、本製品の詳しい説明書「活用ガイド」(PDF形式)を用意しています。 下記の当社ダウンロードセンターからスマートフォン/タブレットやパソコンなど に保存してご利用ください。

- Adobe Acrobat Reader (Adobeのウェブサイトからダウンロードできます) やiBooks (iOS用アプリ) でご覧いただけます。
- 冊子版(有料)をご希望の場合は、カスタマーサポートセンターにお問い合わ せください。

パソコンやスマートフォン/タブレットで画像を見るには

下記のソフトウェアまたはアプリをご使用ください。

●パソコン用ソフトウェア

下記の当社ダウンロードセンターからダウンロードいただけます。

- ViewNX-i:撮影した画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧、編集ができます。
- Capture NX-D:パソコンへ取り込んだ画像の調整やRAW現像ができます。

●スマートフォン/タブレット用アプリ

 SnapBridge: カメラとスマートフォン/タブレットを無線接続すると、画像や 動画をスマートフォン/タブレットへ送信できます。ダウンロード方法や接続方 法などは、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。

ダウンロードセンターのご案内

https://downloadcenter.nikonimglib.com

当社映像関連製品の説明書、パソコン用ソフトウェア、ファーム ウェアをダウンロードできます。



COOLPIX A1000 Model Name: N1721

はじめに

ii

箱の中身を確認する

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。



COOLPIX A1000

カメラ本体

□ ストラップ



□ Li-ionリチャージャブル バッテリー EN-EL12





- □ 本体充電ACアダプター □ USBケーブル UC-E21 EH-73P
- □ 使用説明書(本書) □ SnapBridge接続ガイド □ 保証書

※ メモリーカードは付属していません。

本書の記載について

本文中のマークについて

マーク	意味
V	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。
I	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、 メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

iii

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買 い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご 購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」 をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになり ます。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正 常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損 害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご 容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(電池、バッテリーチャージャー、ACアダプ ター、USBケーブル)に適合するように作られていますので、当社製品との組み 合わせでお使いください。

n Nikon Nik

Nikon Nikon Nik

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を 示すホログラムシールが貼られています。
- ・ 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになる
 ホログラム
 と、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱
 シール
 や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。 https://downloadcenter.nikonimolib.com

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます(有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的 であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合があ りますのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー(メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む)内のデータはカメラやパ ソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄し た後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要な データが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任 において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニュー(□29)の[設定クリアー]でカ メラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフト ウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメ ニュー(□29)の[メモリーの初期化]または[カードの初期化]でメモリーを 初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおす すめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況や けがなどに十分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 (VCCIマークは以下の操作で画面に表示されます。MENUボタンを押す→↓メ ニューアイコン→認証マークの表示→のボタン)

VCCI-B

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、実行しなければならない内容です。

		<u></u> 警告
\bigcirc	禁止	歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない 事故やけがの原因になります。
	分解 禁止	分解、修理または改造をしない 落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電やけがの原因になります。
0	実行	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電 源を取り外す 放置すると、発火、やけどの原因になります。
\bigcirc	禁止	水でぬらさない ぬれた手で触らない ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電や発火の原因になります。

vi

	** 1	指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない 指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、 以下の点に注意する ・ コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。
\bigcirc	禁止	ストラップ類を首に巻きつけない 事故の原因になります。
\bigcirc	禁止	幼児の手の届くところに置かない 故障やけがの原因になります。 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
\bigcirc	禁止	フラッシュを運転者に向けて発光しない 事故の誘発につながります。
\bigcirc	禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉 塵の発生する場所で使うと、爆発や発火の原因になります。
\bigcirc	禁止	電源を入れたまま長時間直接触らない 低温やけどの原因になります。

- 重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げ たりしない
- 海外旅行者用電子式変電圧器(トラベルコンバーター)や DC/ ACインバーターなどの電源に接続して使わない

発火、感電の原因になります。



充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグ に触らない 感電の原因になります。



接触

- 高温環境や低温環境では、直接触らない
- たけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

注意



vii

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする



無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しな いようにする 医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に 悪影響を与えるおそれがあります。



実行
長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す 故障や発火の原因になります。

- 接触 レンズなどの可動部には触らない
- 禁止 けがの原因になります。



接触 フラッシュを人体やものに密着させて発光させない 禁止 やけどや発火の原因になります。



禁止 夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や発火の原因になります。

♦ 禁止

三脚などにカメラを取り付けたまま移動しない 故障やけがの原因になります。

金陵 (電池について)

電池は誤った使いかたをしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の 原因になります。

- ・充電池は、専用の充電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
 - 電池を分解しない
 - 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて ショート(短絡)しない
 - 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げた
 りしない



↓ 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。





\bigcirc	禁止	電池を乳幼児の手の届く所に置かない 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
\bigcirc	禁止	水につけたり、雨にぬらしたりしない 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってくだ さい。
\bigcirc	禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、所定の時間を超えて も充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
0	実行	使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
0	実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水 で洗い流す 放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

目次

よじめに	ii
	. ii
詳しい説明を知りたいときは	. ii
パソコンやスマートフォン/タブレットで画像を見るには	. ii
ダウンロードセンターのご案内	. ii
箱の中身を確認する	iii
本書の記載について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi

各部の名称	. 1	l
カメラ本体	'	1
操作部別機能一覧	2	2
タッチパネルの操作方法	!	5

影の準備	6
マーイ Mill	6
電池とメモリーカードを入れる	7
電池やメモリーカードを取り出すには	7
電池を充電する	8
国像モニターの角度を変える	0
電源を ON にして、カメラをセットアップする1	1

х

撮影と再生の基本操作	13
画像を撮影する	13
 フラッシュを使う	15
動画を撮影する	15
タッチ撮影について	16
アック 取ぶたつ マモ mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm	16
画像を再生する	17
画像を削除する	10
国家に正定しる	10
いろいろな撮影	19
撮影モードを選ぶ	19
P.S.A.Mモード(露出を設定して撮影する)	20
露出設定のヒント	21
マルチャレクターで設定する撮影機能(なべ)(し)(す)	23
	24
マ ⁻ っアルフォーカスの使い方	25
フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧	27
メニューを使う	29
メニューの操作方法	29
画像選択画面の操作方法	31
メニュー項目一覧	32
撮影メニュー	32
動画メニュー	33
再生メニュー	33
通信メニュー	34
セットアップメニュー	35

資料	36
無線通信機能についてのご注意	37
取り扱い上のご注意	39
カメラについて	39
電池について	40
本体充電ACアダプターについて	41
お手入れ方法	42
クリーニングについて	42
保管について	42
故障かな?と思ったら	43
主な仕様	44
使用できるメモリーカード	48
索引	50
ニコンプラザについて	53
修理サービスのご案内	54
修理に関するお問い合わせ先	55
製品の使い方に関するお問い合わせ先	55

より詳しい説明については、本製品の「活用ガイド」(PDF形式) をダウンロードしてご覧ください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com



各部の名称

カメラ本体



- 1 コマンドダイヤル
- 2 シャッターボタン
- 3 ズームレバー
- 4 撮影モードダイヤル
- 5 フラッシュ
- [5](クイックバックズーム) 6 ボタン
- 7 サイドズームレバー
- 8 Fn (ファンクション) ボタン
- 9 アイヤンサー
- 10 電子ビューファインダー
- 11 視度調節ダイヤル
- 12 0 (モニター) ボタン



- 13 **4** (フラッシュポップアップ) レバー
- 14 電源スイッチ/電源ランプ (充電ランプ)
- 15

 (再生) ボタン
- ロータリーマルチセレクター (マルチセレクター) * 16
- 17 QQ (決定) ボタン
- 18 6(削除) ボタン
- **19** MENU (メニュー) ボタン
- 20 (▶ 動画撮影) ボタン
- **21** 緍 (AE-L/AF-L) ボタン
- 22 画像モニター

※ 本書では、マルチヤレクターの上下左右を押す操作を▲▼◀▶と表記しています。

操作部別機能一覧

操作部		主な機能
は して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、	撮影時	撮影モードを選ぶ(□□19)
	撮影時	 ▼(Q)(望遠)側で被写体を大きく、W (■)(広角)側で広い範囲を写す
₩₩₩₩₩₩ ズームレバー	再生時	 ・ 「(Q) 側で拡大表示、 (図) 側で サムネイル / カレンダー表示する ・ 動画再生の音量を調節する
「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本」 「日本」	撮影時	一時的に画角(見える範囲)を広げる
▼ ↓ ↓ サイドスームレバー	撮影時	 [サイドズームレバー設定] で割り当てた機能を使う ・ズームレバー(初期設定): T(望遠) 側で被写体を大きく、W(広角)側で広い範囲を写す ・MFレバー:フォーカスモードがMF(マニュアルフォーカス)時にピントを合わせる ・絞り値、ISO感度、露出補正またはホワイトバランスを設定する
	撮影時	半押し:ピントと露出を合わせる 全押し:シャッターをきる
シャッターボタン	再生時	撮影に戻る

操作部		主な機能
► 	撮影時	動画撮影を開始/終了する
 ● (*果動画撮影) ボタン 	再生時	撮影に戻る
	撮影時	 撮影画面の表示中: 以下の設定画面を表示する 上(▲): \$ (フラッシュモード) 左(◀): \$ (フラッシュモード) 下(▼): \$ (フォーカスモード) 右(▶): 2 (露出補正/明るさ、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティング) 撮影モード P時(□20):回転してブログラムシフトを設定する 撮影モード S時(□20):回転してシャッタースピードを設定する 撮影モード A、M時:回転して絞り値を設定する
マルチセレジター	再生時	 再生画面の表示中:上(▲)、左(◀)、 下(▼)、右(►)、または回転で表示 画像を切り換える 拡大表示中:表示位置を移動する
	設定時	▲▼◀ ▶または回転で項目を選ぶ、 Øンで選択を決定する
	再生時	 グルーブ画像を1コマずつ表示する (口18) かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する 動画を再生する サムネイル表示/拡大表示から1コマ表示に戻る
● (決定) ボタン	設定時	マルチセレクターで選んだ項目を、決定 する

操作部		主な機能
\bigcirc	撮影時	 撮影モード P 時(①20): プログラム シフトを設定する 撮影モード S、M 時(①20): シャッ タースピードを設定する 撮影モード A 時(①20): 絞り値を設 定する
コマンドダイヤル	再生時	 再生画面の表示中:表示画像を切り換える 拡大表示中:拡大率を切り換える
	設定時	項目を選ぶ
(MENU) MENU (メニュー) ボタン	撮影時/再生時	メニューを表示/終了する(囗29)
Fn Fn (ファンクション) ボタン	撮影時	撮影モード P、S、A、M 時: [連写] や「静止画手ブレ補正」などの設 定メニューを表示/終了する
AE-L AF-L 縦 (AE-L/AF-L) ボタン	撮影時	[AE-L/AF-Lボタン設定]の設定にした がって、露出やピントを固定する
(ロ) (モニター) ボタン	撮影時/再生時	画像モニターと電子ビューファインダー を切り換える(〇〇16)
	撮影時	画像を再生する(□17)
(再生) ボタン	再生時	 ・ 電源 OFF 時に長押しして、再生モード で電源を ON にする(口17) ・ 撮影に戻る
	撮影時	最後に保存した画像を1コマ削除する (口18)
山 面 (削除)ボタン	再生時	画像を削除する(□18)

タッチパネルの操作方法

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作 できます。



広げる/つまむ



タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、 つまむように狭めたりする操作です。

🖉 タッチ操作の有効/無効について

セットアップメニュー(**[]29**)の [**タッチ操作**]で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。

撮影の準備

ストラップの取り付け方



• ストラップは、左右どちらのストラップ取り付け部にも取り付けられます。

電池とメモリーカードを入れる

電池ロックレバー メモリーカードスロット

- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら(③)、奥まで差し込みます(④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の 削除、カードの初期化ができません。
- 撮影したデータは、メモリーカードまたは内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

▶ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラ で初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー(□29)の[カードの初期化]を選びます。

電池やメモリーカードを取り出すには

電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカー ドカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていること がありますので、ご注意ください。

撮影の準備

7

電池を充電する



電源ランプ(充電ランプ)

- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まり ます。充電中は電源ランプ(充電ランプ)がゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、電源ランプ(充電ランプ)が消灯します。コンセントから本体 充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外してください。
 充電時間は、残量がない電池の場合、約2時間30分です。
- 電源ランプ(充電ランプ)が速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

VSBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

▶ 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。操作中は電源ランプ(充 電ランプ)は消灯します。
 - 充電中は動画を撮影できません。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

画像モニターの角度を変える

画像モニターは、向きや角度を調節できます。

通常の撮影時













▶ 画像モニターについてのご注意

撮影の準備

- 画像モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範 囲内でゆっくりと動かしてください。
- 画像モニターの内側には触れないでください。故障の原因となります。



特にこの部分には触れない でください。

ローアングル撮影時





電源をONにして、カメラをセットアップする

電源をはじめてONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計を設定する画面が表示 されます。

1 カメラの電源をONにする

• 設定項目の変更や決定には、マルチセレクターを使います。



 言語選択の画面が表示されます。マルチセレ クターの▲▼で言語を選び、®ボタンを押し て決定します。国や地域によって、表示され る言語は異なります。



2 [はい]を選び、®ボタンを押す



3 自宅のある地域(現在地)を選び、∞ ボタンを押す

▲を押すと夏時間を設定できます。設定オンで時計が1時間早くなり、%が表示されます。
 ▼を押して設定オフにすると、時計が1時間戻ります。



- 4 日付の表示順を▲▼で選び、∞ボタンを押す
- 5 内蔵時計の日付と時刻を設定して、®ボ タンを押す
 - ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
 - [分]を選んで®ボタンを押し、設定を確認します。



- 6 確認画面が表示されたら [はい] を選び、 ®ボタンを押す
 - セットアップが完了すると、撮影画面に切り換わります。

言語を設定し直すには

言語は、Yセットアップメニュー(CQ29)の[言語/Language]で設定できます。

少 地域と日時の設定を変更するには

↑セットアップメニューの「地域と日時」で設定します。 [タイムゾーン]で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると 1時間戻ります。

撮影と再生の基本操作

画像を撮影する

▲(オート撮影)モードを例に説明します。▲(オート撮影)モードでは、さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

撮影モードダイヤルを回して、▲に合わせる



- 電池残量表示
 (回):電池残量はあります。
 (回):電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数 メモリーカードをカメラに入れていないと きは、IMが表示され、画像を内蔵メモリー に記録します。

2 カメラを構える

 レンズやフラッシュ、AF補助光、アイセンサー、マイク、スピーカーなどに、指 などがかからないようにご注意ください。

13

3 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、は(クイックバックズーム)ボタン を押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。

4 シャッターボタンを半押しする

- 半押しとは、シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることをいいます。
- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑 色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、 画面中央でピントが合います。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。

AFエリア

5 シャッターボタンを半押ししたまま、 全押しして撮影する

▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または 動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取 り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメ モリーカードが壊れることがあります。

🖉 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプ が点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

🖉 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 暗い場所でフラッシュが③(発光禁止)のとき
 - ズーム位置が望遠側のとき
- ・ 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー(□29)の[静止画手ブレ補正]を[しない]にしてください。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでフラッシュが必要 なときは、**4**〇(フラッシュポップアップ) レバーを動かし、フラッシュをポップアップ させます。

 撮影画面でマルチセレクターの▲(\$)を 押すと、フラッシュモードを設定できま す。フラッシュを常に発光させるには、\$ (強制発光)にします。

フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

動画を撮影する

撮影画面を表示し、●(▶▼動画撮影)ボタンを押す と撮影を開始します。終了するにはもう一度●(▶▼) ボタンを押します。

タッチ撮影について

撮影画面でタッチ撮影アイコンをタップすると、 タッチ撮影の機能を切り換えられます。

 初期設定の「「クッチシャッター」では、シャッ ターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッ プするだけでシャッターがきれます。

画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所で画像モニター が見えにくいときは、電子ビューファインダーの使 用をおすすめします。

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイ センサーが反応し、電子ビューファインダーが点 灯して、画像モニターが消灯します(初期設定)。
- 〇〇 (モニター)ボタンを押しても、画像モニター または電子ビューファインダーに表示が切り換 わります。

ファインダーの視度調節

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファイ ンダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して 調節します。

• 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

▶ ■像の色などの確認や調節をするときのご注意

電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の画像モニターをお使いください。

画像を再生する

- (再生) ボタンを押して、再生モード にする
 - ・電源OFFの状態で▶ボタンを長押しすると、再 生モードで電源がONになります。

2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼< ▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- 撮影に戻るには、▶ ボタンまたはシャッターボ タンを押します。
- 1 コマ表示でズームレバーをT (Q)側に動かすと、拡大表示されます。

1コマ表示でズームレバーをW
 (図)側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

前の画像を表示

次の画像を表示

画像を削除する

再生モードで、削除したい画像を表示して
 (削除)ボタンを押す

 マルチセレクターの▲▼で削除方法を 選び、@ボタンを押す

• 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

- 3 [はい]を選び、®ボタンを押す
 - 削除した画像は、元に戻せません。

✔ RAWとJPEGを同時記録した画像の削除についてのご注意

[画質](□32)の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] で撮影した画像を、 このカメラで削除すると、同時記録したRAWとJPEG画像が両方とも削除されます。片 方のみを削除することはできません。

✔ グループ画像の削除について

- 連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「グルーブ画像」として保存され、再生すると1 コマ(代表画像)のみを表示します(初期設定)。
- 代表画像の表示中に面ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてが削除されます。
- グループ内の画像を個別に削除するときは、®ボタンを押して1コマずつに展開表示してから面ボタンを押します。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで面ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

18 撮影と再生の基本操作

撮影モードダイヤルを回し、指標に合わせます。

- ・
 〇(オート撮影) モード
 さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。
- SCENE (シーン) モード MENUボタンを押して、シーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影が できます。

[おまかせシーン](初期設定)にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。

- P、S、A、Mモード
 シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

🖉 ヘルプ表示について

撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。 すぐに撮影画面にするには、シャッターボタンを半押しします。説明の表示/非表示は、 セットアップメニュー [モニター設定](CL35)の [ヘルブの表示] で切り換えられます。

19

P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

P、S、A、Mモードでは、撮影意図に応じて露出 (シャッタースピードや絞り値などの組み合わせ) を自分で設定できます。さらに撮影メニュー (□29)の項目を設定して、より本格的な撮影を 楽しめます。

撮影モード	内容
P プログラムオート	 シャッタースピードと絞り値の設定をカメラまかせにして撮影できます。 コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回すと、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます(ブログラムシフト)。プログラムシフトやは画面左上に ②(ブログラムシフトマーク)が表示されます。 ブログラムシフトを解除するには、③が消えるまでコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを設定時の逆方向に回すか、撮影モードを切り換えるか、または電源を OFF にします。
S シャッター優先 オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回してシャッター スピードを設定すると、絞り値をカメラが自動制御します。**1
A 絞り優先オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して絞り値を設 定すると、シャッタースピードをカメラが自動制御します。**2
Mマニュアル露出 ^{※3}	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。 シャッタースピードはコマンドダイヤルを回して設定します。*1 絞り値はマルチセレクターを回して設定します。*2

※1 撮影画面のシャッタースピード表示をタップしても設定できます。

※2 撮影画面の絞り値表示をタップしても設定できます。

※3 露出設定の操作部は、セットアップメニュー(□29)の[Av/Tv操作切り換え]で 割り当てを変更できます。

(ア) プログラムシフト中

シャッタースピード 絞り値

露出設定のヒント

同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えると、被写体の流 動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードによる効果

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影して動きを止めたり、遅い シャッタースピードで動きを強調したりできます。

速くする 1/1000秒

遅くする 1/30 秒

絞り値による効果

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりで きます。

🖉 シャッタースピードと絞り値について

- シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。
- このカメラのレンズは、絞り値がズーム位置によっても変化します。
- 露出を設定した後にズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化すること があります。
- レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど(絞りを開くほど)明るくなり、数値が大きくなるほど(絞りを絞るほど)暗くなります。数値が一番小さい状態を「開放絞り」、 一番大きい状態を「最小絞り」といいます。

いろいろな撮影 21

▶ 露出設定についてのご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅したり(P、S、Aモード時)、露出インジケーターが赤色表示になったり(Mモード時)します。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

▶ 動画撮影時の露出設定について

P、S、A、Mモードでの動画撮影時は、シャッタースピードや絞り値の設定は反映されません。

露出インジケーターについて(Mモード時)

設定した露出値とカメラが測定した適正露出値の 差が画面の露出インジケーターに表示されます。 露出インジケーターは、-2 EVから+2 EVの範囲 で1/3 EVごとに表示されます。

✔ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定](口32)を「オート](初期設定)または[感 度制限オート]に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□23)
- セルフタイマー (□23)
- フォーカスモード (□23)
- クリエイティブスライダー (223)
- 撮影メニュー (□29)
- Fn (ファンクション)ボタンで設定できる機能(□30)

🖉 AFエリアについて

ピント合わせをするエリアは、撮影メニューの[AFエリア選択](□32)の設定に よって異なります。初期設定の[ターゲットファインドAF]では、カメラが主要な被写 体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先し ます。

マルチセレクターで設定する撮影機能(な/心/心/辺)

撮影画面でマルチセレクターの▲(\$) ◀(ů) ▼(ů) ▶(凶)を押すと、以下 の機能を設定できます。

・ 5 フラッシュモード

フラッシュのポップアップ時に、発光モード(フラッシュモード)を撮影状況 に合わせて設定できます。 (強制発光)または(通常発光)を選ぶと、フ ラッシュが常に発光します。

- ・ ご セルフタイマー / 自分撮りタイマー
 シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。
- 🖬 クリエイティブスライダー /露出補正
 - クリエイティブスライダー:撮影モードが P、S、A、M モードのとき、明 るさ(露出補正)、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節で きます。
 - 露出補正:撮影モードが P、S、A、M モード以外のとき、明るさ(露出補正)を調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

フォーカスモード

撮影距離に適したフォーカスモードを選べます。

1 マルチセレクターの▼(影)を押す

フォーカスモードの種類

AF 通常AF

レンズから50 cm以上(最も望遠側の場合は2.0 m以上)離れた被写体を撮影 するときに使います。

マクロAF

MF マニュアルフォーカス

レンズ前約1cm~無限遠(∞)の任意の被写体にピントを合わせられます (□25)。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

🖉 フォーカスモードの設定について

撮影モードによっては、設定できないことがあります(□27)。

・ 撮影モードP、S、A、Mの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

マニュアルフォーカスの使い方

以下の撮影モードで使えます。

P、S、A、Mモード

シーンモードの [スポーツ] または [打ち上げ花火]

 マルチセレクターの▼(♥) を押し、MF(マニュアル フォーカス)を選んで、[®] ボタンを押す

 拡大表示で確認しながら、マルチセレ クターでピントを合わせる

- ・ 画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、
 を押すと2倍、4倍または等倍に切り換わります。
- マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すと、より細かくピント合わせができます。コマンドダイヤルを回しても、ピント合わせができます。

ピーキングレベル

- を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。オートフォーカスで ピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ピントが合った箇所は、白色で強調(ピーキング)表示し、ピント合わせを補助します(□26)。▲▼を押すと、ピーキングレベルを調節できます。
- シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮 影ができます。

3 図ボタンを押す

- 設定したピントに固定されます。
- シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- 設定したピントを変更するときは、
 のボタン を押して手順2の画面を表示します。

🖉 MF (マニュアルフォーカス) について

- 手順2で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが 合う距離の目安です。
- ピント合わせができる最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。最も広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。最も望遠側のズーム位置では、レンズ前約2.0 mの被写体からピント合わせができます。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニューの [サイドズームレバー設定] (口35) を [MFレバー] にする と、手順2でマルチセレクターのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせがで きます。

✓ 動画撮影中のマニュアルフォーカスについて

フォーカスモードをMFにして●(*景動画撮影)ボタンを押すと、動画撮影中もコマン ドダイヤルやマルチセレクターでピントを合わせることができます。

🖉 ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。
 コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニューの [MFビーキング] (口35) でピーキング表示しない設定にできます。
- 動画メニューの [動画設定] (□33) がHS動画のときは、動画撮影中のピーキング表示はできません。

🖉 マニュアルフォーカス撮影画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、画面を操作できます(□5)。

- 拡大表示中に広げる/つまむと、拡大率を切り換えられます。
- 拡大表示中にスライドすると、表示位置を移動できます。田をタップすると、表示位置が画面中央に戻ります。

リモコン ML-L7(別売)を使用してピントを合わせるには

- リモコンのマルチセレクターの▲▼を押すと、マニュアルフォーカス時にリモコンで ピントを合わせることができます。
- リモコンの∞ボタンを押すと、設定したピントに固定できます。

フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカス モードの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード (囗23)	セルフタイマー (囗23)	フォーカスモード (囗23)
▲ (オート撮影)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
☆ (クリエイティブモード)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
SCENE(シーンモード) [•] (おまかせシーン)	\$ AUTO ** 2	OFF	AF ^{⋇3}
2 (ポートレート)	\$®	OFF	AF ^{⋇3}
🖬 (風景)	③ ^{≈3}	OFF ^{%4}	AF ^{**3}
😼 (タイムラプス動画)	③ ^{*3}	OFF	AF ^{⋇3}
💐 (スポーツ)	③ ^{≈3}	OFF ^{*3}	AF ^{*5}
☑(夜景ポートレート)	\$● ^{※3}	OFF	AF ^{*3}
💥 (パーティー)	\$@ ^{%6}	OFF	AF ^{**3}
🗟 (ビーチ)	\$ AUTO	OFF	AF ^{™1}
8 (雪)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
🚔 (夕焼け)	B ^{*3}	OFF	AF ^{**3}
當 (トワイライト)	3 *3	OFF ^{**4}	AF ^{⊛3}
■(夜景)	() *3	OFF ^{**4}	AF ^{⋇3}
🗱 (クローズアップ)	\$ AUTO	OFF	₩*3
❣️ (料理)	() *3	OFF	₩*3
 (打ち上げ花火) 	③ ^{*3}	OFF ^{*3}	MF ^{*3}
🖭 (逆光)	\$/ ③ ^{※7}	OFF	AF ^{⋇3}
🛱 (かんたんパノラマ)	③ ^{≈3}	OFF ^{*3}	AF ^{*3}
・・ (ペット)	③ ^{*3}	^{%8} آه	AF ^{™1}
SOFT (ソフト)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
🖋 (セレクトカラー)	\$ AUTO	OFF	AF ^{™1}
🔊 (比較明合成)	③ ^{≈3}	ڻ3s	AF ^{*3}
	\$AUTO ^{**9}	0FF ^{*10}	AF ^{**3}
👼 (ショートムービーショー)	3 *3	OFF	AF ^{*1}
Ρ. S. Α. Μ	\$	OFF	AF

- ※1 MF (マニュアルフォーカス) は選べません。
- ※2 判別した撮影状況に合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。
 ③ (発光禁止)に変更できます。
- ※3 変更できません。
- ※4 95s [自分撮りタイマー] は使えません。
- ※5 AF (通常AF) またはMF (マニュアルフォーカス) に変更できます。
- ※6 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※7 [HDR] が [しない] のときは\$(強制発光)に、[HDR] が [する] のときは
 ③(発光禁止)に固定されます。
- ※8 國[ペット自動シャッター]と95s [自分撮りタイマー] が使えます。[ご10s] または [ご3s] は使えません。
- ※9 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※10 [心10s]、[心3s]、95s [自分撮りタイマー]以外に団[笑顔自動シャッター]や 間[セルフコラージュ]も使えます。

メニューを使う

メニューの操作方法

MENU(メニュー)ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- ・ 回撮影メニュー^{※1、2}
- ・ 東動画メニュー^{※1}
- ▶ 再生メニュー^{※3}
- ・ 《T[》]通信メニュー
- #セットアップメニュー
- ※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
- ※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
- ※3 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。

1 MENU (メニュー) ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 マルチセレクターの < を押す

メニューアイコンが黄色で表示されます。

- **3** メニューアイコンを選び、 のボタンを押す
 - メニュー項目が選べるように なります。

۵	セットアップ	5
	地域と日時	
HE I	モニター設定	
^I	EVFの自動切り換え	ON
	日付写し込み	OFF
1	セルフタイマー解除設定	ON
۲	静止画手ブレ補正	ON
	AF補助光	AUTO

🖉 メニュー表示中のコマンドダイヤルまたはマルチセレクターの操作について

メニューまたは設定項目を表示中にコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して も項目を選べます。

✓ メニュー画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、メニュー画面を操作できます(□5)。

Fn (ファンクション) ボタンを使う

P、S、A、MモードでFnボタンを押す と、あらかじめ登録したメニュー項目を すばやく設定できます(初期設定は[連 写]です)。メニュー項目の登録を変更す るには、配[Fnボタン設定]を選び、表 示されるメニュー項目の中から登録した いメニュー項目を選びます。

画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表 示されたときは、以下の手順で画像を選びます。

- ・ズームレバー(□1)をT(Q)側に動かすと 1コマ表示に、W(■)側に動かすと一覧表 示に切り換わります。
- ・ [画像回転]の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- **2** ▲▼でON/OFFを設定する
 - ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示 されます。複数の画像に設定したいときは、 手順1と2を繰り返します。
- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
 - 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。

メニュー項目一覧

撮影メニュー

撮影画面にする → MENUボタン

撮影モード共通

項目	初期設定
画質※	[NORMAL]
画像サイズ [※]	[¹⁶] 4608×3456]

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (Q30)。

P, S, A, M = - F

項目	初期設定
ホワイトバランス*	[オート (標準)]
測光方式※	[マルチパターン]
連写 [※]	[単写]
ISO感度設定 [※]	[オート]
AEブラケティング	 「撮影枚数」:「ブラケティングしない」 「補正ステップ」:「±0.3」
AFエリア選択 [※]	[ターゲットファインドAF]
AFモード	[プリAF]
ノイズ低減フィルター	[標準]
Mモード露出反映表示	[する]

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (Q30)。

撮影画面にする → MENUボタン → 「果メニューアイコン → ® ボタン

項目	初期設定
動画設定	[෩1080/30p] または [෩1080/25p]
AFモード	[シングルAF]
動画手ブレ補正	[する (ハイブリッド)]
風切り音低減	[しない]
フレームレート設定	-

再生メニュー

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン

項目
送信画像の指定 ^{※1}
簡単レタッチ ^{※2}
D-ライティング ^{※2}
赤目補正 ^{※2}
メイクアップ効果 ^{※2}
フィルター効果 ^{※2}
スライドショー
プロテクト設定 ^{※1}
画像回転 **1
画像コピー ^{※1}
グループ表示設定

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(□31)

※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合 があります。

MENUボタンを押す → (r)メニューアイコン → @ ボタン

項目

機内モード

接続先切替

スマートフォンと接続

リモコンとの接続

撮影時画像送信

Wi-Fi

Bluetooth

設定の初期化

セットアップメニュー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → ® ボタン

項目
地域と日時
モニター設定
EVFの自動切り換え
日付写し込み
セルフタイマー解除設定
静止画手ブレ補正※
AF補助光
電子ズーム
サイドズームレバー設定
AE-L/AF-Lボタン設定
操作音
オートパワーオフ
カードの初期化/メモリーの初期化
言語/Language
HDMI出力
パソコン接続充電
画像コメント
著作権情報
位置情報
Av/Tv操作切り換え
MFピーキング
設定クリアー
タッチ操作
認証マークの表示
バージョン情報

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (CD30)。

資料

無線通信機能についてのご注意	37
取り扱い上のご注意	
カメラについて	39
電池について	40
本体充電 AC アダプターについて	41
お手入れ方法	42
クリーニングについて	42
保管について	42
故障かな?と思ったら	43
主な仕様	44
使用できるメモリーカード	48
索引	50
ニコンプラザについて	53
修理サービスのご案内	54
修理に関するお問い合わせ先	55
製品の使い方に関するお問い合わせ先	55

無線通信機能についてのご注意

● 電波に係わるご注意

 本製品はWi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域に よって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。 ご購入された国以外での使用については、ニコンカスタマーサポートセンター (□55)へお問い合わせください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接 続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っ ていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、 特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の 上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を 負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、 接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあり ます。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 個人情報の管理および免責事項

 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報 を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱い で変化、消失する場合があります。

必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。

当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損 害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー(□29)の[設定クリアー]で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国法 の対象です。EARの輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア:変 更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

● Wi-Fi(無線LAN)機能/Bluetooth機能のご注意

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています(以下の操作で画面に表示されます。
 MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 認証マークの表示 → ⑩ボタン)。
 以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - アマチュア無線局(免許を要する無線局)
 これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、
 通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ニコンカスタマーサポートセンター(□55)にご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任 を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-FiおよびBluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~□ix)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレン ズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水にぬらさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理 不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラ を持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビ ニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録デー タが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、そ の際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生することがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 画像モニターについて

- ・ 画像モニター(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られ ており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものが あります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一 部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響 ありません。あらかじめご了承ください。
- 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。
- ・ 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないようご注意ください。

電池について

●使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃~40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに 使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。 ・ 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。

- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、 性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなって いるときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。 このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の 温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

●予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があ ります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメ ラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温 し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温 に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚 れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返 すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電 してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- ・使用後の電池は半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、電池残量表示が
 ■になるまでカメラで電池を使ってから保管してください。
- ・電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい 電池をお買い求めください。

● リサイクルについて

不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイ クル協力店へお持ちください。

詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(https://www.jbrc.com)をご 覧ください。

- 数字の有無と数値は電池に よって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- ・本体充電ACアダプターEH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、 必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグア ダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意くださ い。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋 や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央 から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬 いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取 れないときは、レンズクリーナー液(市販)で湿らせた柔らかい布で軽く拭い てください。

画像モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾 いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、 硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂 や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意:カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になりま す。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。 また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月 に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。 カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」 (□□41)をお守りください。

故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機 関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

以下で解決できない場合は、詳しい説明書「活用ガイド」(PDF形式)(□ii)や当社ウェブサイトのサポート情報もご覧ください。

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ē
電源 ON の状態で、 カメラの操作がで きない	 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 AC アダブター使用時は付け直してください。 記録中であったデータは保存されません。 保存済みのデータは電池や AC アダブターの取り外しでは失われません。 	-
電源を ON にでき ない	 電池残量がありません。 電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに 数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッ チを押してください。 	7、8、 40 -
カメラの電源が突 然切れる	 オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	15 40 —
画像モニター / 電 子ビューファイン ダーに何も映らな い	 電源が入っていません。 電池残量がありません。 オートパワーオフ機能が働きました。 画像モニターと電子ビューファインダーは同時に点 灯しません。画像モニターと電子ビューファイン ダーの切り換えに時間がかかることがあります。 カメラがパソコンと接続されています。 インターバル撮影中、シーンモードの「タイムラブ ス動画]または[比較明合成] で撮影中です。 	11 13 15 - -
カメラの温度が高 くなる	動画撮影や画像送信などで長時間使ったり、周囲の温 度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高く なることがありますが、故障ではありません。	_

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX A1000

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1604万画素(画像処理で減少することがあります)
撮像素子	1/2.3型原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学35倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-151 mm (35mm判換算24-840 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.4-6.9
レンズ構成	11群13枚(EDレンズ4枚)
電子ズーム倍率	最大4倍(35mm判換算で約3360mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式(静止画) レンズシフト方式と電子式の併用(動画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	 ・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、 約 2.0 m ~∞ (望遠側) ・ マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~∞ (広 角側)、約 2.0 m ~∞ (望遠側)
AFエリア	顔認識オート、マニュアル (スポット)、マニュアル (標準)、マニュアル (ワイド)、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
ファインダー	電子ビューファインダー、0.2型液晶、約116万ドット相 当、視度調節機能付き(-4~+4 m ⁻¹)
視野率(撮影時)	上下左右とも約98%(対実画面)
視野率(再生時)	上下左右とも約98%(対実画面)
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター(タッチパネル)、反射防止 コート付き、約103万ドット 輝度調節機能付き(5段階) チルト方式
視野率(撮影時)	上下左右とも約98%(対実画面)
視野率(再生時)	上下左右とも約98%(対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約81 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.31準拠
ファイル形式	静止画: JPEG、RAW (NRW) (ニコン独自フォーマット) 動画: MP4 (映像: H.264/MPEG-4 AVC、音声: AACス テレオ)

١	録画素数	
	静止画	16M [4608×3456], 8M [3264×2448], 4M [2272×1704], 2M [1600×1200], 16:912M [4608×2592], 3:214M [4608×3072], 1:1 [3456×3456]
	動画	2160/30p(4K UHD)、2160/25p(4K UHD)、 1080/30p、1080/25p、1080/60p、1080/50p、 720/30p、720/25p、720/60p、720/50p、 HS 720/4 倍、HS 1080/2 倍、HS 1080/0.5 倍
ISO感度(標準出力感度)		 ISO 100 ~ 1600 ISO 3200、6400 (P、S、A、M モード時に設定可能)
露	出	
	測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
	露出制御	プログラムオート(プログラムシフト可能)、シャッター 優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラ ケティング可能、露出補正(±3段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式		メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	 1/2000~1秒 1/2000~8秒(S、A、Mモード) 1/4000秒(高速連写時の最高速) 25秒(シーンモード[比較明合成]の[星軌跡])
彩	8 D	電磁駆動による3枚羽根虹彩絞り
	制御段数	7(1/3 EVステップ)(広角側)(A、M モード)
t	ルフタイマー	• 10 秒、3 秒 • 5 秒(自分撮りタイマー)
7	/ラッシュ	
	調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~6.0 m(広角側) 約2.0~3.0 m(望遠側)
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外部インターフェース		
	USB端子	Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使 わないでください)、Hi-Speed USB ・ ダイレクトプリント(PictBridge)対応
	HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子(Type D)

Wi-Fi (無線LAN)		
	準拠規格	IEEE 802.11b/g (無線LAN標準プロトコル)
	周波数範囲(中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
	出力	9.98 dBm (EIRP)
	認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
B	uetooth	
	通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
	周波数範囲(中心周波数)	Bluetooth : 2402~2480 MHz Bluetooth Low Energy : 2402~2480 MHz
	出力	Bluetooth : 3.54 dBm (EIRP) Bluetooth Low Energy : 2.98 dBm (EIRP)
電源		Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12(リチウム イオン充電池:付属)×1個 ACアダプター EH-62F(別売)
充電時間		約2時間30分(本体充電ACアダプター EH-73P使用時、 残量のない状態からの充電時間)
電池寿命※1		
	静止画撮影時	約250コマ(EN-EL12使用時)
	動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約55分(EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴		1/4 (ISO 1222)
寸法(幅×高さ×奥行き)		約114.2×71.7×40.5 mm(突起部除く)
質量		約330g(電池、メモリーカード含む)
動作環境		
	使用温度	0℃~40℃
	使用湿度	85%以下(結露しないこと)

 ・仕様データは、CIPA(カメラ映像機器工業会)の規格またはガイドラインに準拠して
います。

※1 電池寿命は、SnapBridgeを使用していないときの値です。また、使用温度、撮影 間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの残量 が多いときでも最長29分です。また、動画のファイルサイズの上限は、1ファイル につき最大4GBです。29分未満の動画撮影でも、1ファイルのサイズが4GBを超え ると複数のファイルに分割され、連続再生できません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0°C∼40°C
寸法(幅×高さ×奥行き)	約32×43.8×7.9 mm
質量	約22.5 g

本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100-240 V $$ 50/60 Hz $$ MAX 0.14 A
定格入力容量	12-18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃~40℃
寸法(幅×高さ×奥行き)	約55×22×54 mm
質量	約51g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。 ~ AC(交流)、--- DC(直流)、回 クラスⅡ機器(二重絶縁構造)

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明 するためのイメージです。

使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用で きます。

- UHS-Iに対応しています。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメー カーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録 商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用し ています。
- Apple[®]、App Store[®]、Apple□ゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone[®]、iPad[®]、 iPod touch[®]およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商 標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社(https://www.aiphone.co.jp/)のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。 Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変 更したものであり、Creative Commons 3.0 Attributionライセンスに記載され た条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンス に基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。 (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます) (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVCビデオをデコードすること 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許 諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、 ©2012 The FreeType Project (https://www.freetype.org) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2019 The HarfBuzz Project (https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz)のものです。すべて の権利はその所有者に帰属します。

索引

下記にない項目や、より詳しい説明については、本製品の 「活用ガイド」(PDF形式)をダウンロードしてご覧ください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com

<u>マーク・英数</u>

オート撮影モード	19
₫ クリエイティブモード	19
SCENE シーンモード	19
A 絞り優先オートモード	20
S シャッター優先オートモード	
	20
触 ショートムービーショーモード	
-	19
P プログラムオートモード 19、	20
Mマニュアル露出モード19、	20
▶ 再生モード	17
	17
₩ 広角ズーム	14
🖬 サムネイル表示	17
	14
☆ AE-L/AF-L ボタン 1	、4
覚 クイックバックズームボタン…1	2
6 決定ボタン1、3、	29
 再生ボタン	17
血 削除ボタン1、4、	18
● (▶ 動画撮影) ボタン1.3.	15
Fn ファンクションボタン	. 4
40 フラッシュ ポップアップレバー	•••
1.	15
$MENU \times \Box_{\neg} - \pi \varphi \vee \dots 1. 4.$	29
$ \Box = 2 - \pi \sqrt{2}$	16
☑ クリエイティブスライダー	23
ふ セルフタイマー	23
277 - 777 - 777 - 73	22
4 フラッシュモード	27
▼ ノ ノ ノ ノ ユ ヒ	25

☑ 露出補正	23
1 コマ表示	17
AE-L/AF-L ボタン設定	35
AE ブラケティング	32
AF エリア	14
AF エリア選択	32
AF 補助光	35
AF モード	33
Av/Tv 操作切り換え	35
Bluetooth	34
D- ライティング	33
EVF の自動切り換え	35
HDMI 出力	35
ISO 感度設定	32
Li-ion リチャージャブルバッテリー	
	47
MF ピーキング	35
Micro-USB 端子	8
Mモード露出反映表示	32
SD メモリーカード7、	48
USB ケーブル	8
Wi-Fi	34
_	

⁴ <u>ア</u>

赤目補正
位置情報
オート撮影モード
オートパワーオフ 15.34
オートフォーカス

カ

カードの初期化7、	35
拡大表示	17
画質	32
風切り音低減	33
画像回転	33
画像コピー	33
画像コメント	35
画像サイズ	32
画像モニター 1、10、	42
簡単レタッチ	33
機内モード	34
記録可能コマ数	13
クリエイティブスライダー	23
クリエイティブモード	19
グループ画像	18
グループ表示設定	33
言語 /Language	35
コマンドダイヤル 1、4、	20

サ

再生	17
再生メニュー	29
再生モード	17
サイドズームレバー	14
サイドズームレバー設定	35
削除	18
撮影13、	19
撮影時画像送信	34
撮影メニュー	29
撮影モード	19
撮影モードダイヤル 1 2 13	19
サマータイム	12
サムネイル表示	17
ラムホイル2455	46
<u></u>	10
ノ ノ こ ,	16
がり値	20
	20
	20
	20
	14
ンヤツター 愛元 オートモート… 19、	20

充電ランプ 1、	8
ショートムービーショーモード	19
焦点距離	44
初期化	. 7
ズーム	14
ズームレバー1、2、	14
ストラップ	. 6
ストラップ取り付け部	. 6
スマートフォンと接続	34
スライド	5
スライト	. כ גצ
ハノー ノコ	25
伊山回ナノレ袖山 按使生い共	22
按枕元り曾	34
設定クリアー	35
設定の初期化	34
セットアップメニュー	29
セルフタイマー	23
セルフタイマー解除設定	35
操作音	35
送信画像の指定	33
測光方式	32

タ

タイムゾーン	12
タッチ撮影	16
タッチ操作	35
タッチパネル	5
タップ	5
端子カバー	8
地域と日時11、	35
著作権情報	35
通常 AF	24
通信メニュー	29
電源	11
電源スイッチ / 電源ランプ 1、	11
電子ズーム	35
電子ビューファインダー1、16、	42
電池vi、7、8、40、	46
電池 / メモリーカードカバー 7.	8
電池残量	13
動画再生	17
動画撮影	15

動画設定	33
動画手ブレ補正	33
動画メニュー	29
時計	11

ナ

 内蔵メモリー	7
夏時間	12
日時の設定	11
認証マークの表示	35
ノイズ低減フィルター	32

<u>/\</u>

バージョン情報	35
パソコン接続充電	35
半押し	14
日付写し込み	35
日付の表示順	12
ピント	14
フィルター効果	33
フォーカスモード 23、	24
フォーマット	. 7
フラッシュ1、	15
フラッシュモード	23
フリック	. 5
フレームレート設定	33
プログラムオートモード	20
プロテクト設定	33
ホワイトバランス	32
本体充電 AC アダプター	
vi、8、41、	47

マ

マクロ AF	24
マニュアルフォーカス	25
マニュアル露出モード19、	20
マルチセレクター 1、3、	29
メイクアップ効果	33
メモリーカード7、	48
メモリーカードスロット	7
メモリーカードの初期化	7
メモリー残量	13
メモリーの初期化	35

52

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコ ン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザショールーム ナビダイヤル 0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル 0570-02-8060

- ・
 ・
 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセン ター(03)6702-0577におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URL をご覧ください。

https://www.nikon-image.com/support/showroom/

修理サービスのご案内

■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。 下記のホームページからお申込みいただけます。

・ ニコン ピックアップサービスで発送する場合

修理品梱包用資材のお届けから修理が完了した製品のご返送 までをセットにしたサービスです。全国一律の料金にて承ります(大きさや重 さには制限があり、取り扱いできない製品もあります)。

 ご自身で発送する場合 インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修 理センターまで発送してください。

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 修理センターナビダイヤル 0570-02-8200 ※ 修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしておりません。

■お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

こコンピックアップサービス専用フリーダイヤル 0120-02-8155

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

※上記フリーダイヤルは、修理のお申し込み専用です。修理内容に関するお問い 合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センター へお願いいたします。

■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

▶ 修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、 装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内を、修理可能期間とさせ ていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、 ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。ま た、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期 間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス 機関にお任せください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

営業時間:9:30~18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/repair/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■インターネットでのお問い合わせ

https://www.nikon-image.com/support/contact/

■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「故障かな?と思ったら」をご参照 ください。

ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル 0570-02-8000

営業時間:9:30 ~ 18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/contact/

お問い合わせ時のお願い

おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象(表示されたメッセージ)」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

■ ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内 💼

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力 をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重 要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」(無料)の「製品登録」ページからご登録い ただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホーム ページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利 な会員特典*などフォトライフをよりお楽しみいただくための会 員サービスです。

※特典は登録製品ごとに異なります。

■ご注意

- ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- 登録製品の製品番号(製品本体および保証書に記載)が必要です。
- 特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

💼 ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報 をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、 定期的なアクセスをおすすめします。

© 2019 Nikon Corporation

